

## 平成31年度 産学接続コースの基本情報について

## 1 コースの分類

分類名	プロライセンスコース
-----	------------

※①プロ育成教育コース・専門教育コース、②実践教育制度併設コース、③プロライセンスコースの3類型から選択。

## 【参考】大阪発「産学接続コース」の類型

プロ育成教育コース・専門教育コース	・プロ育成教育コースは、全学年を通じて、学校と企業とで策定されたカリキュラムを履修することとなり ます。授業全部が産学共同のカリキュラムであり、その中には企業で実施する現場実習も含まれます。 ・専門教育コースは、学校で学ぶカリキュラムの中に、企業と共同で実施する研修が組み込まれたものです。研修は企業の現場で実施されます。
実践教育制度併設コース	・実践教育制度併設コースは、学校で学ぶカリキュラムとは別に、学校が独自に研修制度を設置しています。希望者がこれを活用して、実践的な産学接続教育を受けることができます。
プロライセンスコース	・プロライセンスコースは、指定養成分野において、国家資格等の取得に必要な教育のほか企業や業界のニーズを踏まえたより実践的な教育が実施されることが特徴です。

## 2 学科概要

専修学校名	日本メディカル福祉専門学校	分野区分	保育分野
課程名	社会福祉専門課程	修業年限	2年
学科名	こども福祉学科	学科定員数	160名
学科開設年月日	平成19年4月1日	学科実員数	11名
コース設置年月日	平成27年4月1日	推奨年度	平成31年度
当該学科の教育目標	相談援助職としての専門性を身につけた保育士の養成		
就職を目指す職業	保育士をはじめとする福祉、及び教育に関する職業		
当該学科に対する業界のニーズ	子ども・子育て支援において、子どもだけでなく保護者の思いに沿った支援をすることができる「援助職」として高い専門性のある人材育成		

## 3 企業・業界との提携内容等（コースの内容） ※平成30年度実施内容

提携企業名（業界名等）	株式会社 ニチゼミ新聞社 豊新かめっこ保育園 他（保育所・保育園等 児童福祉施設）		
提携企業の具体的ニーズ	・専門職としての基本的姿勢 ・即戦力としての保育技術の習得		
コースの目標	地域型保育事業・低年齢児保育事業や各児童福祉施設の理解を通じ、多様化する現場について学ぶ。実際の体験によって学んだ内容を確認し、就職に向けての課題を認識する。		
企業等との提携内容や実習内容 ※両者の役割分担や共同作業の内容など	<p>学生の情報共有を行ったうえで事前指導及び事後指導を学校が行ない、現場での指導を保育所・園等の児童福祉施設が行なう。なお、企業において実習評価票を作成し、評価を実施頂くが、総合評価は学校が行なう。</p> <p>具体的には、施設理解（保育の流れ）をする。0～2歳児までの低年齢児保育を体験し、子どもの観察や関わりを通して乳幼児等の発達を理解する。又、現場の職員としての動きや乳幼児との関わりを観察し、気づきを促す。さらに、保育・指導計画を理解した上で、設定保育を実施し、子どもの様子を見ながら課題点を見出す取り組みを行なう。全体として、振り返りを行ない、フィードバックを受ける。</p> <p>総じて、保育の専門的知識、保育技術の習得、保育士の職務理解を目指す。</p>		
提携契約期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日		
現場実習期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日 (☑・月・週間)×3回 (163時間相当)		
コース受講生の募集及び実習先の選定方法	保育実習履修（予定）者、保育士としての就職希望者を対象とする。		
履修認定	履修認定時間／総授業時間	賃金支払	雇用契約
☑・無	163時間／970時間	有・☑	有・☑
無料職業紹介届出	実習に係る保険の種類	企業評価の有無	最賃との関係
☑・無	傷害保険	☑・無	充足・非充足
			その他費用負担
			有・☑

評価方法	学校	提携企業の評価を踏まえ、学校の授業科目として成績評価（履修認定）実施
	企業	実習評価票（表）による評価
学生への支援・配慮事項	学校	事前・事後指導の実施、学生のつまづきに対する心理的支援
	企業	指導者による学生へのフォロー

※予定又は見込みの場合は（ ）書きで記載すること。

※提携教育時数が学年ごとに異なる場合には各学年ごとに記載すること。

#### 4 卒業・就職後の早期離職防止のための対策等（企業等における現場実習以外の対策）

卒業・就職後の早期離職防止のための対策と見込まれる効果（自由記述）

【対策】各科目において、仕事のやりがいと共に、起こりうる困難や対処方法を指導することで、学生の想像する業務と現実の業務の相違を軽減及びなくしていく。

【効果】理想だけでなく、困ったことや課題点について、スーパービジョン（指導）を受け、再挑戦（実践）することを経験することで、対応する力を身につけることが出来る。

※在校中又は卒業生に対しての実施事例について、目的・効果と具体的内容を記載すること。

#### 5 申請学科及び申請コースの就職状況又は見込（推奨年度の在籍生の卒業時の見込）

ア. 就職者数等	平成 29 年度（実績）	平成 30 年度（見込）
a. 学科修了者数	7 名	4 名
b. 「a」のうち、当該産学接続型職業教育の活用者数	7 名	4 名
c. 「b」のうち、就職希望者数	7 名	4 名
d. 「b」のうち、提携企業への就職者数	4 名	2 名
e. 「b」のうち、提携企業と同業界への就職者数	3 名	2 名
f. 「b」のうち、進学者数	0 名	0 名
イ. 主な就職先、業界等		
就職先：保育園、乳児院、児童養護施設		

#### 6 申請学科及び申請コースの中途退学の現状

ア. 中途退学者数・中退率
a. 中途退学者 0 名（中退率 0%）
b. 平成 29 年 4 月 1 日在学者 11 名（平成 28 年 4 月入学者を含む）
c. 平成 30 年 3 月 31 日在学者 11 名（平成 30 年 3 月卒業生を含む）
イ. 中途退学の主な理由
該当者なし
ウ. 中退防止のための取組
クラス担任制による個別面談などを行ない、随時学生の現状把握及び指導（支援を含む）を行っている。

#### 7 学校関係者評価の実施・公表

・学校関係者評価結果の公表先 URL：<http://kodomo-fukushi.com/gijiroku.html>

##### ■大阪発「産学接続コース」とは

企業等が求める人材育成を専修学校が受託し、学生に就職などの「出口が見える」職業教育を提供し学生に就職などの「出口が見える」職業教育を提供する専修学校の学科のことです。

この中で、専修学校は、企業との職業教育協定を締結するなど、産業界との連携の中で業界に求められる人材育成を行い、学生には、現場等での実践的な経験等の得られる職業教育を提供していきます。

【イメージ図】



##### ○大阪発「産学接続コース」の要件

1. 専修学校と企業が「職業教育協定」を締結していること。
2. 企業ニーズに沿った「職業教育カリキュラム」を作成していること。
3. 企業における現場研修の場が提供していること。
4. 労働法規などの法令を遵守していること。
5. 専修学校と企業がコース修了生の評価を行っていること。
6. 卒業生の早期離職防止のための対策を講じていること。
7. 生徒等に対して進路選択に際して有益な情報を提供していること。
8. 学校関係者評価を行い、その結果を公表していること。